

舞鶴における海軍と 海上自衛隊の歩み

明治 34年 鎮守府設置
(初代司令長官 海軍中将 東郷 平八郎)

36年 海軍工廠設置

大正 12年 鎮守府廃止、要港部となる

昭和 5年 海軍機関学校校舎竣工
(現舞鶴地方総監部及び第4術科学校)

8年 海軍機関学校大講堂竣工
(現海軍記念館)

14年 鎮守府復活

20年 終戦

27年 保安庁警備隊発足(舞鶴地方隊新編)
(初代総監 海将補 安藤 平八郎)

29年 海上自衛隊発足

平成 19年 防衛庁から防衛省へ移行

24年 舞鶴地方隊60周年

舞鶴在籍艦艇と航空機

護衛艦

118 ふゆづき
130 まつゆき
151 あさぎり
175 みょうこう
177 あたご
181 ひゅうが

補給艦

425 ましゅう
掃海艇
681 すがしま
682 のとじま

ミサイル艇

824 はやぶさ
828 うみたか

多用途支援艦

4301 ひうち
哨戒機
SH-60K



【見学案内】

◎北吸棧橋 (艦艇見学)

毎週土・日・祝/午前10時~午後3時

◎海軍記念館

毎週土・日・祝/午前10時~午後3時

◎舞鶴航空隊

毎週土・日・祝/午後2時~午後3時

◎東郷邸

毎月第1日曜日/午前10時~午後3時

【お問い合わせ】

海上自衛隊舞鶴地方総監部広報係

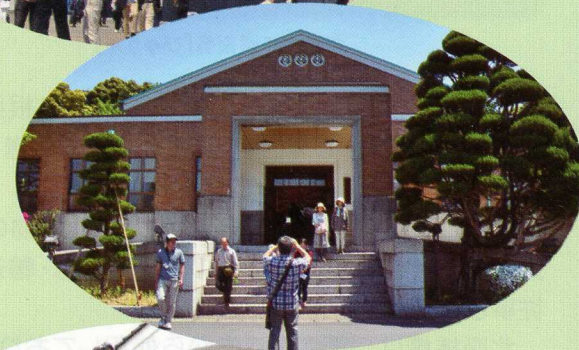
TEL. 0773-62-2250

【ホームページ】

海上自衛隊舞鶴地方隊

検索

海上自衛隊 舞鶴地方総監部



□ 舞鶴西IC・舞鶴東ICから車で約20分
□ 東舞鶴駅からバスで約10分

北吸棧橋



停泊中の護衛艦「ひゅうが」

舞鶴地方隊は、北は秋田県から西は島根県に至る日本海側一帯を警備担当区域とし、各部隊によって編成され、警備にあたっています。

このほか、海岸に漂着した機雷等危険物の処理や災害・事故が発生した場合の救助・復旧・輸送等にも従事しています。

北吸棧橋は、旧海軍時代から使用しており、長さは約800mです。舞鶴に所属している艦艇が停泊しております。

スタンプ

海軍記念館

明治34年10月1日、東郷平八郎中将を初代司令長官として舞鶴鎮守府が設置され、以来、日本海に臨む唯一の軍港として変遷を重ねてきました。

海軍記念館は、旧海軍の史実と伝統を後世に伝えるとともに、隊員の教育に資することを目的として、昭和39年舞鶴地方総監部大講堂(旧海軍機関学校大講堂、昭和8年建築)の一部に設置されたもので、貴重な記念品、資料等200余点が展示されています。



記念館展示室

スタンプ

舞鶴航空基地



飛行中のSH-60K

舞鶴航空基地は、日本海側で唯一の海上自衛隊の航空基地であり、平成13年に、搭載ヘリコプターの支援基地として運用を開始、平成20年に第23航空隊が新編されました。

東郷邸

(舞鶴地方総監部会議所)



庭園から見た東郷邸と一心池

東郷邸は舞鶴鎮守府が設置され、東郷平八郎初代司令長官が明治36年10月19日常備艦隊司令長官になられるまでの2年間にわたり過ごした官邸で、以来歴代長官の官邸として終戦時まで使用されてきた由緒ある邸です。

昭和29年海上自衛隊に移管され、総監部では会議所として保守管理に努めています。